

「宮崎平野と住吉地区」 (歴史 その1) 甲斐 亮典



—土地に刻まれた歴史を考える—

① 暦(こよみ) + 史料(文字で書かれた文書)

歴史

② 土地 + 人跡 (人々の生活の跡)

(土地 + 人跡)

1. 隆起海岸平野の地形

- ① 隆起砂丘が発達し海に向かって平野が広がった土地である。
- ② 砂丘部分と低地部分が並行している。
- ③ 前浜に近い砂丘列は原野・松を主体とする海岸林である。

2. 地形の特徴

- ① 丘陵性の山地と平地の縁辺部には、無数の浸食谷が形成されている。
- ② 入り組んだ谷は、溜池が造られて水田を灌漑した。
- ③ 溜池の後背地は水源涵養林として守られた。

3. 前浜と砂丘が伝えている意味

- ① 前浜砂丘は、最高地点29mの松山である。(住吉神社付近)
- ② 北端は明神山、南端は山崎である。
- ③ 地区住民たちは、この山から海側は海神の領域と考えていたことが推測される。

4. 内陸部と海岸部の神社の違い

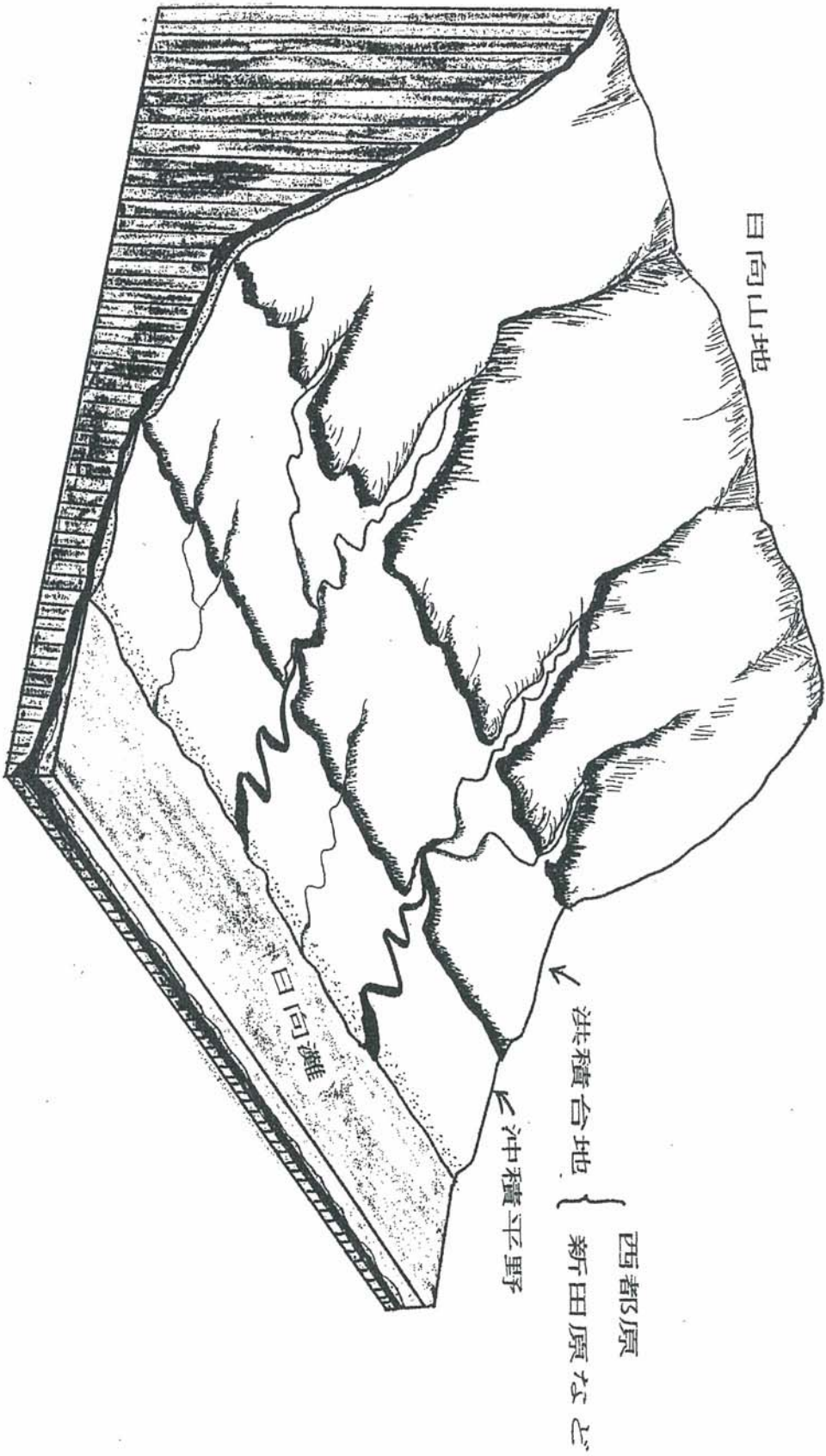
- ① 山に関係ある神様～農業に関係ある神様～海に関係ある神様の順になる。
- ② 集落の中心は、島之内八幡社と考えられる。
- ③ 海岸林は明神山・住吉社・江田社・一ツ葉稲荷社・山崎社などで保護された。

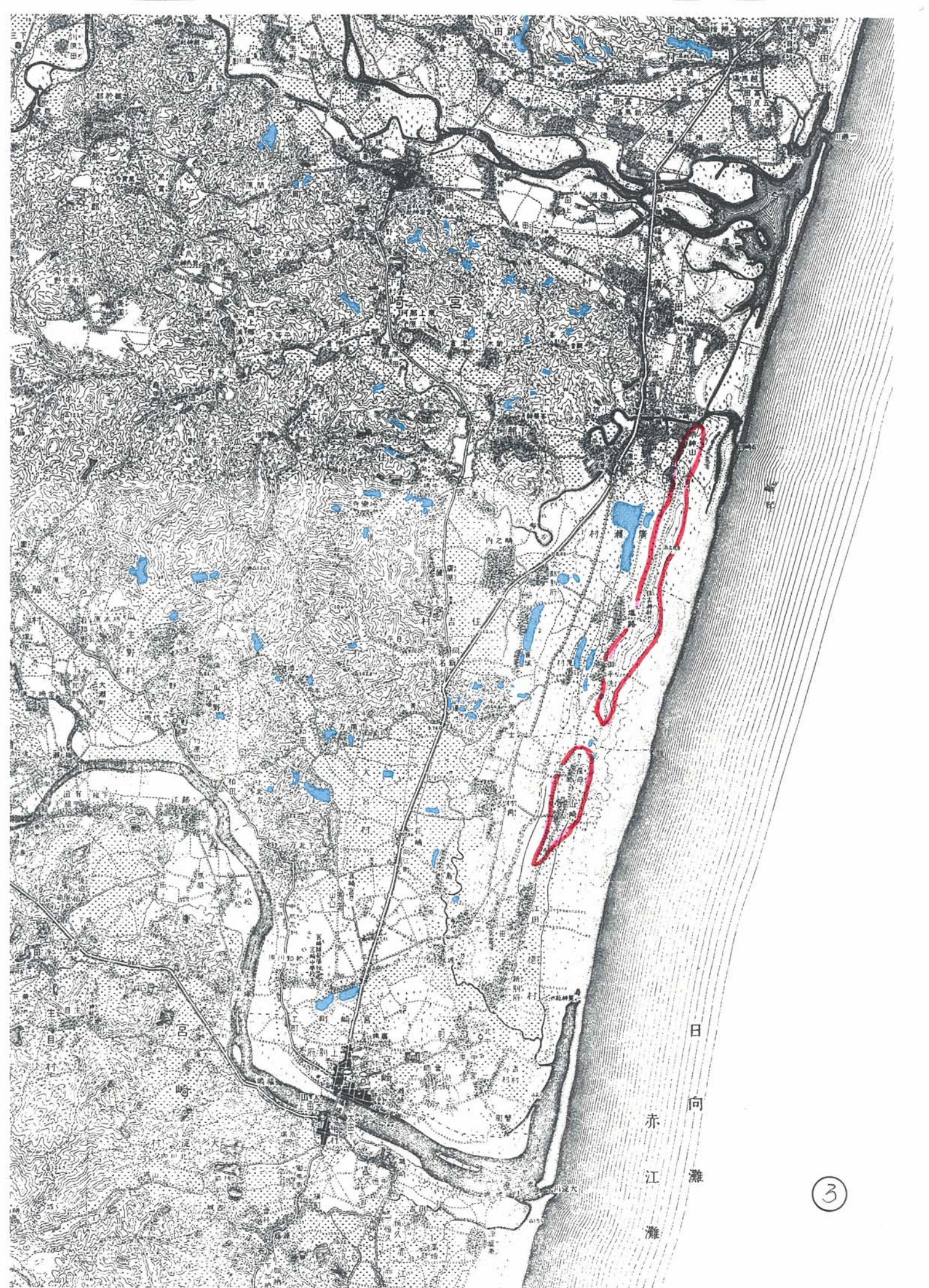
(暦 + 史) (歴史 その2)

宇佐八幡宮の荘園について

- ① 「建久図田帳」による荘園の分布。
- ② 中世日向の三大豪族。
- ③ 新名爪と土持氏。
- ④ 近世の住吉
- ⑤ 近現代の住吉

富崎平野の地形 (隆起海岸平野)





祭祀される神様 山、平地、海岸

